

第 105 回薬剤師国家試験 正誤表等

○ 2 月 22 日 (土) 1 日目③ 一般問題 (薬学理論問題)【病態・薬物治療】

32 ページ 問 193 の設問文及び選択肢の一部 (下線部) について、適切な記載は以下のとおり。

問 193 仮説検定を有意水準 5%で行ったところ、帰無仮説は棄却できなかった。この検定に関する記述のうち、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 第 1 種の過誤を犯す可能性の程度は 5%である。
- 2 第 2 種の過誤が生じている可能性がある。
- 3 帰無仮説は肯定されたと解釈される。
- 4 有意水準を 1%とすれば、帰無仮説は棄却されやすくなる。
- 5 有意水準を変えなければ、標本数を増やしても、帰無仮説が棄却される見込みは変わらない。

(参考：出題時)

問 193 仮説検定を危険率 5%で行ったところ、帰無仮説は棄却できなかった。この検定結果に関する記述のうち、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 第 1 種の過誤を犯す可能性の程度は 5%である。
- 2 第 2 種の過誤が生じている可能性がある。
- 3 帰無仮説は肯定されたと解釈される。
- 4 危険率を 1%とすれば、帰無仮説は棄却されやすくなる。
- 5 危険率を変えなければ、標本数を増やしても、帰無仮説が棄却される見込みは変わらない。

○ 2 月 23 日 (土) 2 日目③ 一般問題 (薬学実践問題)【病態・薬物治療／実務】

14 ページ 問 299 の選択肢 5 の一部

5 ピノレキシン点眼液

→ ピレノキシン点眼液

に訂正